

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

本邦の輸入感染症の疫学解明を目的とした多施設レジストリ研究

【目的】

エボラウイルス病やデング熱など熱帯地域・途上国で感染しうる感染症が世界中で脅威となっている現在、これらの輸入感染症が日本でどれくらい診断されているのかを把握することは非常に重要です。また、輸入感染症の約4分の1は診断が付きにくく自然軽快すると言われていますが、実際にどのような感染症であるのかを知ることで対策をすることができ、将来の日本国内での流行を未然に防ぐことに繋がるかもしれません。この研究では、輸入感染症の情報収集を目的としています。

【対象】

倫理委員会承認日から2026年3月までに海外帰国から半年以内に当院を受診された、または輸入感染症が疑われて当院に紹介受診された患者さん

【方法】

診療記録より当院研究担当医師が、インターネットを介して情報を入力します。入力されたデータは電子的に保存され、研究代表者等が解析します。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがあります。

本研究の対象となる患者さんのうち、保険診療上の検査では診断がつかなかった患者さんには、最新の医療機器を用いた検査を行う目的のために別途追加の試料（血液、便、尿、咽頭スワブなど）を採取させていただく場合があります。その際は個別にご説明をさせていただき同意をいただいた上で実施いたします。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は、特定の個人を識別することができない状態で利用しますので、お名前などの情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】

診療記録（年齢、性別、受診日、発症日、渡航目的、渡航期間、渡航国、接種ワクチン、主訴、転帰、最終診断等）

利用開始日：2019年6月～

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから2027年3月31日まで

【研究代表者】

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター 山元 佳

【共同研究機関】

国立国際医療研究センター病院、大阪大学微生物研究所、成田赤十字病院、大阪市立総合医療センター
公益財団法人東京都保健医療公社 荏原病院、京都市立病院、奈良県医科大学附属病院
りんくう総合医療センター、都立墨東病院、横浜市立市民病院、市立札幌病院、青森県立中央病院
香川県立中央病院、がん・感染症センター都立駒込病院、九州大学病院、富山大学医学部附属病院
名古屋第二赤十字病院、津山中央病院、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科、東北大学大学院医学系研究科
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター、東京都立多摩医療センター、亀田総合病院
兵庫県立尼崎総合医療センター、公立陶生病院、大阪大学医学部附属病院、筑波メディカルセンター病院
筑波大学附属病院

【当院の研究責任者】

感染症内科 吉村 幸浩

【試料・情報の管理責任者】

横浜市立市民病院 病院長 中澤 明尋

【連絡先】

横浜市立市民病院 〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町 1-1

電話 045-316-4580（病院代表） 感染症内科 吉村 幸浩

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。

また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。

ver2.0 2023 年 10 月 12 日